



北広島市議会議員
鶴谷 さとみ

市民ネットワーク北海道 議会レポート 北広島版

発行 市民ネットワーク北海道 〒060-0041 札幌市中央区大通東2丁目15-1 サラサビル4F
TEL 011-219-0112 FAX 011-219-0113 ●ホームページ <http://snet21.jp/>



北広島市議会議員
田辺 ゆう子

すべての子どもが 自分らしく過ごすことのできる居場所を

市内にはたくさんの公園があり、新しい遊具が整備されていますが、小さな子どもたちが遊ぶ姿はあまり見かけなくなっています。少子化や車社会など子どもを取り巻く環境は大きく変化し、遊びの環境は悪化しています。また、以前に比べ子どもの体力低下や肥満など健康の不安もあります。将来のこのまちをともにつくり上げる子どもたちの健やかな育ちを地域全体で応援する保育・教育環境をつくることが求められます。

 子どもの身体能力が低下している原因は、外遊びの機会が減っているからと指摘されています。幼少期には特に自然の中で、仲間と自由に遊ぶことが大切で、自己肯定感を育み、将来に向けての生きる力をつけるためには、安心して過ごすことのできる多様な居場所が必要です。

 子どもたちの放課後の生活の場である学童クラブのニーズは高く、地域によっては大規模化が進み、児童や指導員の負担が課題になっています。落ち着いた環境で安心して過ごすことができるよう改善しなければなりません。

 天気に左右されることなく安全に遊ぶことのできる児童館は、現在、東部地区、西の里地区には整備されていません。小さな子どもだけで

はなく、中高生の居場所としての役割もはたす児童館を子どもたちの意見を取り入れながら、早急に整備することが求められます。

 市民ネットワークでは、既存の整備された公園だけではなく、自然の森や原っぱなどで子どもたちがやりたいことを自由に遊ぶ「冒険あそび場（プレーパーク）」の開催を提案しています。また、安全に遊ぶために子どもたちを見守るプレーリーダーの養成を学生やシニアの力を借りて実現することが望まれます。

 子どもの豊かな育ちを支えるために、遊びの重要性を再認識し、遊び環境や居場所をおとなや自治体が責任を持って整える必要があります。



5/3

▲憲法施行70周年の集会・パレードに参加。

監視カメラの設置が増え、マイナンバー制度がスタート、盗聴法の改悪や秘密保護法によって、私たちの個人情報管理が強まっています。さらに、これまで人権を侵害する恐れがあるとして、3度も廃案となってきた「共謀罪」法案が市民の十分な理解が得られないまま成立しようとしています。

このままでは、憲法に保障されている「自由に発言したり、表現する大切な権利」が奪われてしまいます。自分自身に関わる問題として、情報に耳を傾け、監視社会にNO！の声をあげていきましょう。



監視社会に異議あり！
平和と自由と
人権を守るろう

